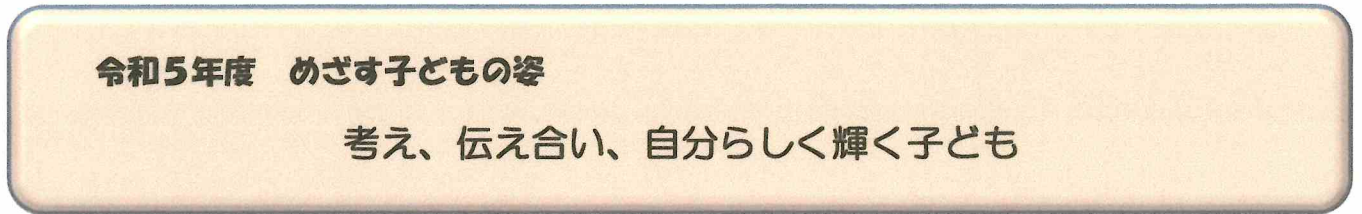


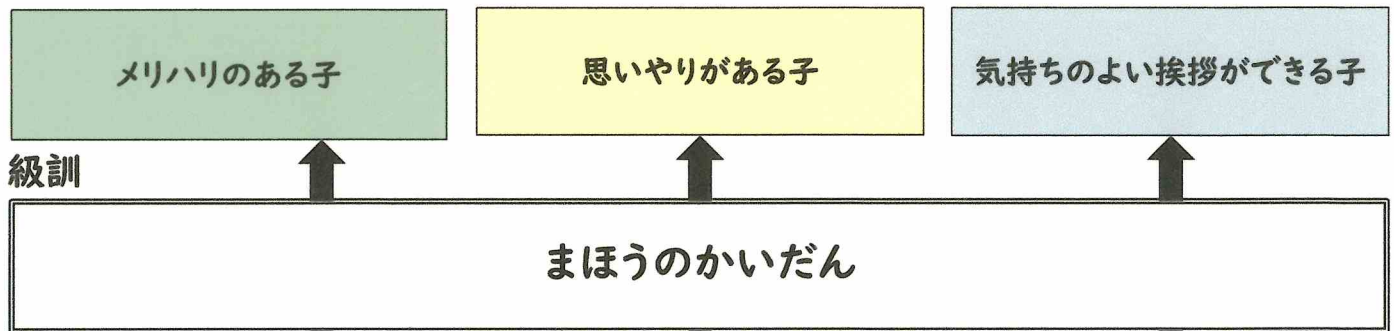
自分事としてとらえる
思いを伝え合う

誰一人、排除しない
誰かのために動ける

健康な心と体を育む
社会に目を向け、つながる



学級における具体的な子どもの姿



指導・支援の内容

○話を集中して聞く

- ・良い姿勢で話を聞いたり、話をしている人の方に体を向けて聞いたりすることができるようにできている子を褒める。
- ・うなずきながら話を聞いている子を認め、学級全体に広がるようにする。

○自分の思いを友だちに伝える

- ・自分事として捉えることができるような授業作りをする。
- ・自分の思いを伝えやすい学級の雰囲気を作る。

○優しい言葉を使う

- ・優しい言葉を使っている子を褒め、学級全体に広げる。
- ・配付物や給食を配るときには、「はい、どうぞ」、「ありがとう」を言えるように声掛けをする。

○行事、活動

- ・友だちを応援したり、困っている子に声をかけたりしている子を認める声掛けをする。

○トラブルから考える

- ・悲しい思いをする子がいた時に、どうすればよかったかを学級で話し合う場を作る。

○進んで

- ・廊下で出会った人にも自分から挨拶ができるように、担任も進んであいさつをする姿を見せるとともにできている子を褒める。

○明るく元気に

- ・明るい挨拶ができるように、担任から見本となるような挨拶を行うとともにできている子を褒める。

○どこでも

- ・地域の方が子どもたちを支えてくれていることを伝え、バスの運転手や見守り隊の方に挨拶ができるようにする。